

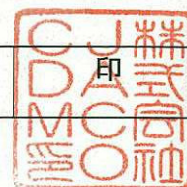
環境省・オフセット・クレジット認証運営委員会  
(事務局:気候変動対策認証センター)御中

平成 23年 10月 11日

## 検証結果の概要報告書

検証結果の概要について以下の通り報告いたします。

<b>対象プロジェクト名</b>	
秋田県雄物川源流域東成瀬村仙人郷の森 CO2 吸収事業 ～ホテルの楽園とおいしい湧水を守る地域振興間伐促進プロジェクト～	
<b>GHG 検証機関</b>	
当該プロジェクトにおける検証を行うにあたり、当該プロジェクトに関して一切の利害関係がないことを宣誓します。	
機関名	株式会社 JACO CDM
担当部署名	事業推進部
責任者名	田中 辰雄
責任者 E-mail	tanaka-t@jaco.co.jp
責任者電話番号	03-5572-1753
審査員名 <sup>i</sup>	湯口 峻宏(審査担当者:チームリーダー) 田中 辰雄(審査担当者:チームメンバー) 萬里小路 明秀(レビュー担当)
機関要件への合致	暫定的な検証機関として登録されており、合致している。
検証報告書発行日	2011 年 10 月 11 日
<b>検証結果</b>	
適用妥当性確認・検証ガイドライン	オフセット・クレジット(J-VER)制度妥当性確認・検証ガイドライン Ver. 2.0
検証期間	2011年9月1日～2011年10月7日
現地審査	期間 2011年9月7日～ 2011年9月8日



		<p>審査内容</p> <p>J-VERの諸規則(実施規則、モニタリングガイドライン等)に基づいた適正な報告がなされているかについて、以下に関する書類審査及び現地審査による検証審査を実施した。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 本プロジェクトの実施が方法論No. R001Ver.4.1に規定する適格性基準を満たしているか。</li> <li>2. モニタリングプランに定められた方法・手段に基づいてモニタリングが実施されているか。</li> <li>3. CO2吸収量の計算がモニタリング方法ガイドライン(森林管理プロジェクト用)Ver.3.0等に沿って適切に行われているか</li> <li>4. 実施体制、教育訓練、内部監査、計測器管理等を含むQA/QCの実施状況の確認</li> <li>5. 不確かさ及び誤りの評価確認</li> <li>6. 関連する許認可及び関連法令等の順守状況及びその他のリスクに関する状況</li> </ol>				
排出削減・ 吸収量	年度	2008	2009	2010	2011(～8/31)	2012
	t-CO <sub>2</sub>	890	1,200	2,294	936	—
検証結果の要約		<p>JACOCDMは、本プロジェクトの対象となった雄勝広域森林組合が管理運営する森林を対象に、モニタリング期間(2008年4月1日～2011年8月31日)における温室効果ガス吸収量増加量を検証した。</p> <p>検証の結果、グリーンプラス(株)秋田県雄物川源流域東成瀬村仙人郷の森 CO2 吸収事業に関する「モニタリング報告書」は、モニタリング方法ガイドライン Ver.3.0 に準拠していることを確認した。</p> <p>また、同報告書に記載された温室効果ガス吸収量増加量5,322t-CO<sub>2</sub>は、プロジェクト申請書及びモニタリングプランに基づいて算定されており、その誤りの合計値が0 t-CO<sub>2</sub>となり、J-VER制度妥当性確認・検証ガイドラインVer1.2に規定する重要性の判断基準である5%以内であることを確認した。</p> <p>以上のことから、検証意見は無限定適正意見であることを表明する。</p>				

<sup>i</sup> 審査担当者、レビュー担当者、外部専門家を含み、それぞれの役割を記載すること。